

## 第7期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

協議テーマ	学齢期・青年期（高校～就労期）における関係機関の連携について
開催回・開催日	令和3年8月11日（水）
記録担当委員名	生涯発達支援部会 小幡美穂
<p><b>【協議概要】</b></p> <p>特別支援学校（高校）から就労までの事例をもとに課題を共有する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、 中学から高校への連携・課題について</li> <li>2、 高校から就労における連携・課題について</li> <li>3、 就労における連携・課題について</li> <li>4、 学齢期に必要な準備や連携について</li> <li>5、 保護者との連携について</li> <li>6、 その他             <ol style="list-style-type: none"> <li>①精神保健福祉連絡会議事録について</li> <li>②小金井市差別解消条例の見直しについて</li> <li>③障害者週間シンポジウム企画について</li> </ol> </li> </ol> <p><b>【課題となった事項の整理】</b></p> <p><b>1、 中学から高校への連携・課題共有について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校生活支援シート」の活用。特別支援学校では、中学から高校への引継ぎは概ね良いと感じるが、それでも親の力量に頼る部分が多い。</li> <li>・手帳を持たないグレーゾーンの生徒については、「学校生活支援シート」の活用はされるのか？生徒の特性をどう伝えるか（伝えるかどうかも含め）、進路情報についても課題が多い。</li> <li>・学校と福祉の連携が難しい。親がコーディネートしている。</li> </ul> <p><b>2、 高校から就労における連携・課題について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校では就労に向けて、外部プロフェッショナルが専門的な指導、検定を行っており、生徒が自分の適性を知る機会を設けている。</li> <li>・本人が負担なくスタートをするためには、事業所の見学など情報の集める親の力量が必要。</li> </ul> <p>⇒例えば、外部プロフェッショナルや事業所の見学企画など、情報提供を自立支援協議会が行う（人材プール）等考えられる。</p> <p><b>3、 就労における連携・課題について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業就労は助成金が2年で終わる。助成金終了後、仕事量や時間が増え、続かなくなるケースがある。</li> <li>・企業指導員の専門性の向上（障害特性に沿った支援方法等）が必要</li> <li>・生活面のトラブルが原因で離職するケースがある。</li> </ul>	

#### 4、学齢期（小学生時）に必要な準備や連携について

小～中～高の積み重ねが、就労についても、生活についても大切である。

##### 具体的に

- ・ **主治医をみつける** → 中学になってから探しても断られるケースがある。
- ・ **福祉サービスを利用する** → 親の意識で利用に差がある。学校と家以外の場所は成長に必要。夏休み等長期の休みに親子で孤立する。子どもの状態が悪くなり、学校に行けなくなってから困って探すケースも。親の力量だけに頼らないコーディネートする仕組みが必要。
- ・ **日常のルーティンを作る** → 離職する理由の中に、生活面のトラブルがある。身支度や衛生面などを幼いころから身につけておく。将来に備える。

##### 情報

特別支援学校では「感覚プロファイル」（視覚・嗅覚・音感覚・味覚・触感覚を調べる）があり、困難と得意を見つけ、合理的配慮のために活用している。

#### 5、保護者と連携をするうえでの課題

- ・ 保育園・幼稚園・小学校など、初めて子どもの障害を知ったときは、保護者も「当事者」である。「当事者」から「本人を支える両輪」になるまで保護者の支援が必要。
  - 支援者は、情報共有しながら「何ができるか」を探っていく。
  - ピアサポートとして、同じ立場の親との交流（将来の情報や、悩みの共有）による支援が有効。親の会や東京都ペアレントメンターの活用。

⇒ 例えば、自立支援協議会で、親の会などの情報提供できる体制づくり等が考えられる。

#### 6、その他

- ① 精神保健福祉連絡協議会議事録 目を通しておく  
(確認ポイントを事務局で示してほしい)
- ② 障害差別解消条例 第3回WG 8/25。意見がある場合は8/22までに事務局へ
- ③ 障害者週間シンポジウム 新たな講師候補に依頼をかける。1年前からの準備が必要では？

##### 【次回の協議内容予定】

就学前、学齢期、就労の各ステージで出てきたネットワークの課題整理。

##### 【次回の開催日程】

令和3年9月8日（水）